

第7章 目標達成に向けた施策・事業

第6章で設定した目標の達成に向けて実施する施策・事業は以下のとおりです。

方向性①：地域公共交通の再構築による利便性の向上

目標①：地域公共交通の再構築による利便性向上

数値指標①：交通空白地

数値指標②：コミュニティ交通（まめバス、乗合タクシー）の年間利用者

数値指標③：地域内公共交通に係る収支率及び市の財政負担額

目標②：市街地エリアにおける移動環境の向上

数値指標①：日常生活における地域公共交通の利用率

数値指標②：高速バスとじゅぐりっと号の接続本数

数値指標③：じゅぐりっと号の年間利用者数

方向性②：地域公共交通のサービス強化による利用促進

目標③：地域公共交通に関する情報発信の強化

数値指標①：地域公共交通ホームページへのアクセス件数

数値指標②：地域公共交通利用方法の認知度

目標④：地域公共交通に関する新たなサービスの導入による利便性向上

数値指標①：観光客の地域公共交通機関利用率

数値指標②：地域間幹線系統路線バス等のICカード等利用率

方向性③：地域との共創による地域公共交通の維持・確保

目標⑤：多様な関係機関と連携した地域公共交通の利用機会の創出

数値指標①：地域公共交通の利用頻度

数値指標②：地域と連携したイベント等の取り組み件数

目標達成に向けた施策・事業

1) コミュニティ交通の充実

- ①地域間幹線系統路線バスの見直しに併せたコミュニティ交通の導入
- ②交通空白地への新たなコミュニティ交通の導入
- ③既存コミュニティ交通（まめバス、乗合タクシー）の地域の実情に応じた改善

2) 新たな地域公共交通の創出

- ①市街地エリアにおける新たな移動サービスの導入
- ②じゅぐりっと号のサービス強化

3) 地域公共交通に関する情報提供の充実

- ①地域公共交通マップの作成
- ②ホームページによる一元的な情報提供の実施及び広報周知
- ③MaaSなどの新たな技術を活用した地域公共交通利用環境の構築

4) 地域公共交通に関する新たなサービスの導入・検討

- ①観光施設や宿泊施設と連携した地域公共交通 1～2日フリー乗車券の導入
- ②コミュニティ交通の料金体系の見直し
- ③交通系 IC カード等の普及・促進

5) 地域公共交通に関する多分野との連携

- ①保育園・認定こども園・幼稚園・小学校、高齢者を対象とした乗り方教室の実施
- ②多分野での意見交換会
- ③地域公共交通に関するイベント開催・地域公共交通と連携した地域でのイベント開催

(1) 施策・事業の内容

1) コミュニティ交通の充実

① 地域間幹線系統路線バスの見直しに併せたコミュニティ交通の導入

〔事業概要〕

「人吉・球磨地域公共交通計画」に基づき、地域間幹線系統路線バスの一部路線をコミュニティ交通へ見直します。見直しにあたっては、沿線市町村と連携してコミュニティ交通の充実を図ります。

※コミュニティ交通の運行にあたっては、国の運行費補助（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）の活用も含めて検討します。

〔事業主体〕

市、相良村、五木村、地域住民、交通事業者

〔事業箇所〕

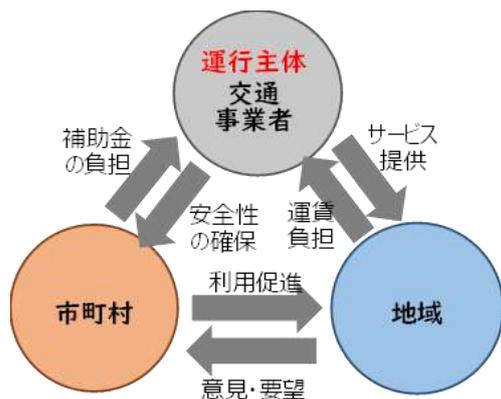
五木線

- ・人吉産交～茶湯里温泉前～上田代
- ・人吉産交～柳瀬～上田代
- ・人吉産交～大谷～頭地

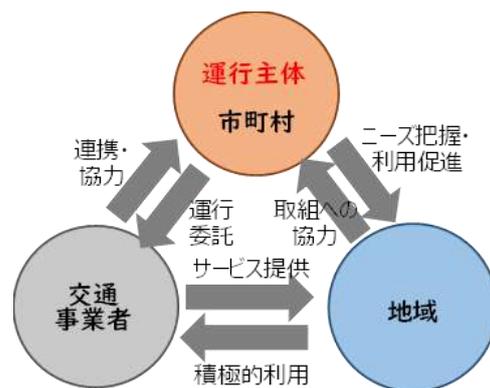
〔事業スケジュール〕

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	くま川鉄道の全線開通に併せて、コミュニティ交通の運行準備・運行開始			

〔従来の運行の仕組み〕



〔今後の運行の仕組み（コミュニティ交通）〕



対象路線	コミュニティ交通の例	留意事項
五木線 ・人吉産交～茶湯里温泉前～上田代 ・人吉産交～柳瀬～上田代 ・人吉産交～大谷～頭地	・複数市町村が連携したスクールバスの運行 ・複数市町村が連携したコミュニティバスや乗合タクシーの運行	・人吉高校五木分校への通学手段確保 ・幹線との接続強化

1) コミュニティ交通の充実

②交通空白地への新たなコミュニティ交通の導入

〔事業概要〕

本市の交通空白地を対象に、コミュニティ交通を導入します。コミュニティ交通の導入にあたっては、既存のコミュニティ交通（まめバス、乗合タクシー）の活用なども含めて検討します。

※コミュニティ交通の運行にあたっては、国の運行費補助（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）の活用も含めて検討します。

〔事業主体〕

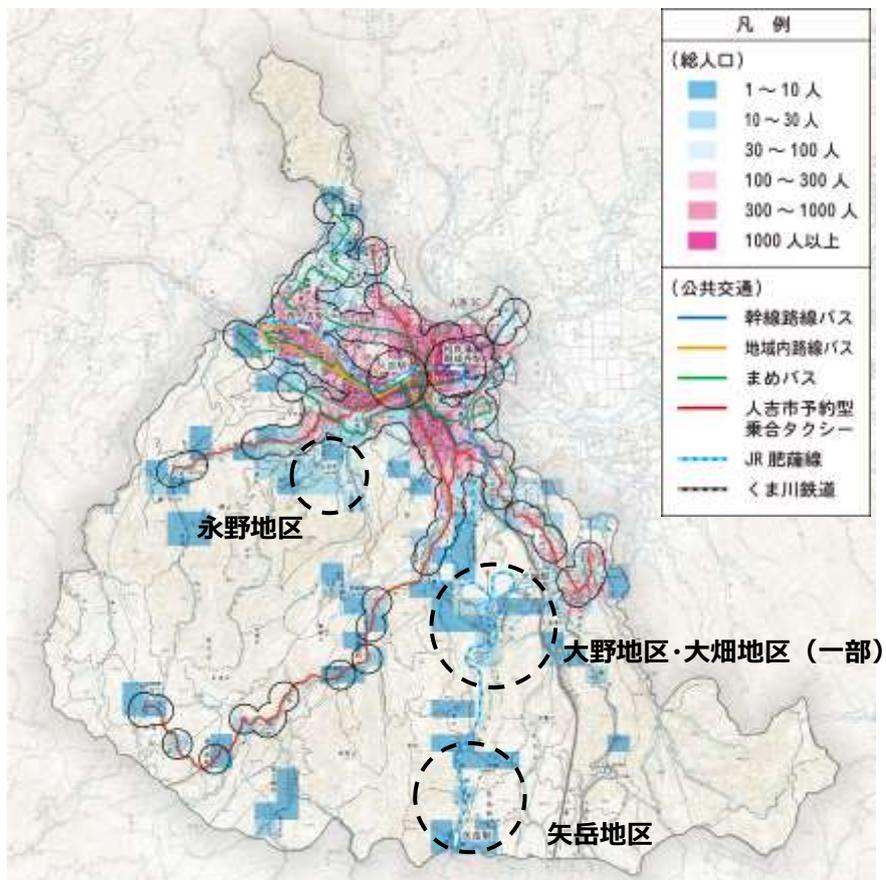
市、地域住民、交通事業者

	〇〇〇	△△△	×××
運行主体	バス事業者	タクシー2事業者	タクシー1事業者
事業内容	郊外部⇔市街地	郊外部⇔市街地	郊外部⇔市街地
運行形態	路線定期	路線定期	区域運行
運行路線数	5路線	5路線	-

〔事業箇所〕

交通空白地：4地区（永野地区・大野地区・大畑地区（一部）・矢岳地区）

〔事業スケジュール〕



対象地区	コミュニティ交通の例
永野地区	まめバスもしくは予約型乗合タクシー、自家用有償運送の導入
大野地区・大畑地区（一部）	既存予約型乗合タクシーの見直し
矢岳地区・（大野地区）	予約型乗合タクシーの導入

1) コミュニティ交通の充実

③ 既存コミュニティ交通（まめバス、乗合タクシー）の地域の実情に応じた改善

【事業概要】

既存のコミュニティ交通（まめバス、乗合タクシー）を対象に、利用実態や地域の実情に応じて見直しを行い、利便性が高いコミュニティ交通への改善を図ります。

【事業主体】

市、地域住民、交通事業者

【事業箇所】

まめバス4路線、乗合タクシー5路線

【事業スケジュール】



(改善例)

コミュニティ交通	路線名	改善例
まめバス	大柿線	運行内容の改善（運行曜日や運行本数の増加、運行ルートの見直しなど）もしくは予約型乗合タクシーへの見直し
	上原田（尾曲）線	運行内容の改善（運行曜日や運行本数の増加、運行ルートの見直しなど）もしくは予約型乗合タクシーへの見直し
	七地線	運行内容の改善（運行曜日や運行本数の増加、運行ルートの見直しなど）もしくは予約型乗合タクシーへの見直し
	小柿線	運行内容の改善（運行曜日や運行本数の増加、運行ルートの見直しなど）もしくは予約型乗合タクシーへの見直し
乗合タクシー	鹿目線	現在の運行内容を継続し、さらなる利用促進
	田野西線	現在の運行内容を継続し、さらなる利用促進
	田野東線	現在の運行内容を継続し、さらなる利用促進
	下田代線	現在の運行内容を継続し、さらなる利用促進 交通空白地と一体となった運行内容への見直し
	山江線	運行ルートの見直しなど

2) 新たな地域公共交通の創出

① 市街地エリアにおける新たな移動サービスの導入

〔事業概要〕

市街地エリアにおいて、市民の日常生活における買い物や通院先等を連絡する新たな移動サービスを導入します。なお、導入にあたっては、「②じゅぐりっと号のサービス強化」と一体的に取り組みます。

〔事業主体〕

市、地域関係者（商業施設・医療施設関係者）、交通事業者

〔事業箇所〕

市街地エリア

〔事業スケジュール〕



（導入イメージ）

- ・市街地エリア内の主要施設（商業施設、医療施設、公共施設）をカバーする形で運行（次頁参照）
- ・施設内への乗り入れも含めて検討
- ・サービス水準：1時間に1本程度、運賃 150～200 円
- ・対象施設と連携したスポンサー制度（バス停設置→スポンサー料金の徴収→バス車内等への広告）

協賛メニュー・メリット

メニュー	メニュー内容	メニュー価格
メニューA	バス車内広告	3,000,000円
メニューB	バス車内広告	2,700,000円
メニューC	バス車内広告	315,000円
メニューD	バス車内広告	850,000円
メニューE	バス車内広告	705,000円

〔コミュニティバスを活用した企業サポーター制度の実施事例〕（東京都文京区）

2) 新たな地域公共交通の創出

②じゅぐりっと号のサービス強化

〔事業概要〕

じゅぐりっと号を対象に、人吉 IC 乗降口での高速バスとの接続強化など、観光客をはじめとする来訪者の利便性向上に向けたサービス強化を図ります。なお、じゅぐりっと号の運行ルート見直しにあたっては、「①市街地エリアにおける新たな移動サービスの導入」と一体的に取り組みます。

〔事業主体〕

市、地域関係者、交通事業者

〔事業箇所〕

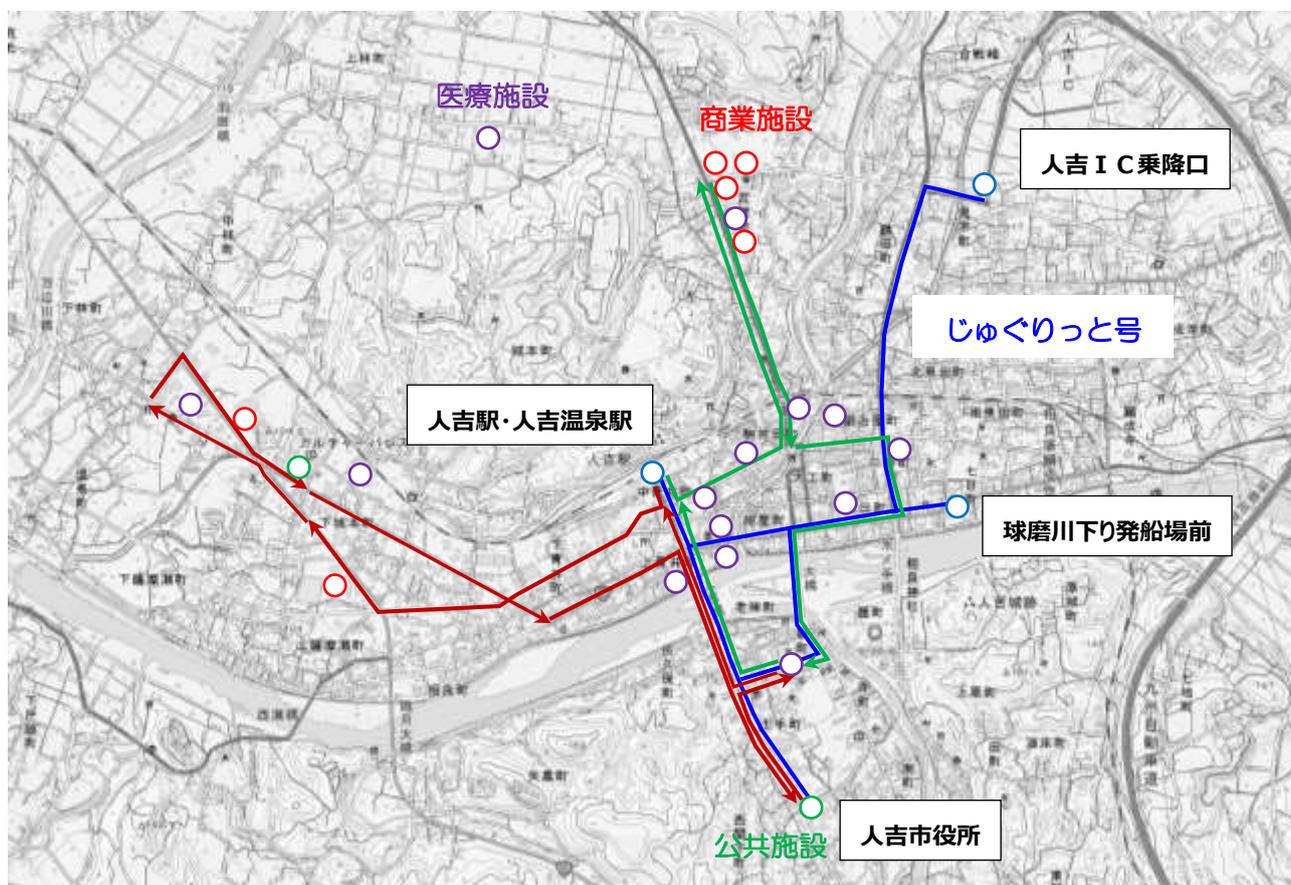
じゅぐりっと号

〔事業スケジュール〕



(改善例)

- ・運行本数の増加：平日・土曜・日祝日 10往復/日 → 15往復/日程度
※JR九州バスが運行する「B&S みやざき」への接続強化
- ・市街地運行ルート（案）



3) 地域公共交通に関する情報提供の充実

① 地域公共交通マップの作成

〔事業概要〕

本市における地域公共交通に関する情報、さらには観光施設や宿泊施設等も一緒になった分かりやすく便利な地域公共交通マップを作成します。

作成にあたっては、市民のみならず観光客等も利用できるように、人吉球磨地域全体での移動も含めた内容となるよう留意します。

その他、レンタサイクルやシェアサイクル等の情報も一元的に提供することで、利用者のアクセス利便性の向上を図ります。

〔事業主体〕

市、地域関係者（観光関係者）、交通事業者

〔事業箇所〕

市全域

〔事業スケジュール〕

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
作成			配布・適宜更新	

（取り組みイメージ）

・中学生などと連携した地域公共交通マップづくり

→ 地域の資源や公共交通に関するフィールドワークを実施し、公共交通を活用したマップ（すごろく）作成



3) 地域公共交通に関する情報提供の充実

② ホームページによる一元的な情報提供の実施及び広報周知

〔事業概要〕

既存のホームページ等を活用し、本市の HP より一元的な情報提供を行うとともに、ホームページへのアクセス利便性を考慮し、QR コード等を活用したチラシを作成・配布します。

ホームページに関しては、人吉球磨地域の地域公共交通に関するホームページ等のリンク集などを整理するとともに、「①地域公共交通マップ」と連携し、一元的な情報提供を実施します。

その他、SNS（Instagram、Twitter、LINE など）を活用し、地域公共交通に関する PR 動画やその他情報発信を定期的を実施し、地域公共交通の利用推進（ナッジによる取組み）を実施します。

〔事業主体〕

市、交通事業者

※ナッジとは、「そっと後押しする」意味であり、行動科学の知見の活用により、人々が自分自身にとってより良い選択肢を自発的に取れるように手助けする政策手法のことです。

〔事業箇所〕

市ホームページ他

〔事業スケジュール〕

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
整備			運用開始	

〔取り組みイメージ〕



〔公共交通時刻表として公共交通マップと各交通機関の運行状況と時刻表などの一元的な情報提供の実施事例〕
(熊本県八代市)



〔ナッジによる公共交通利用促進の事例〕
(国土交通省中国運輸局)

3) 地域公共交通に関する情報提供の充実

③MaaSなどの新たな技術を活用した地域公共交通利用環境の構築

〔事業概要〕

MaaS(Mobility as a Service)など新たな技術を活用し、一元的な情報提供に加え、キャッシュレス決済、その他観光や飲食等のサービスとの連携など、利便性の高い地域公共交通利用環境を構築します。

構築にあたっては、熊本県が阿蘇エリアで実証事業を行った（令和4年10月～11月）「熊本型観光MaaS」などとの連携も含めて検討します。

〔事業主体〕

市、地域関係者、交通事業者

〔事業箇所〕

市全域

〔事業スケジュール〕

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
熊本県の動向などの研究	実施に向けた準備		運用開始	

(取り組みイメージ)



〔日本版 MaaS の推進：国土交通省〕

The poster for '阿蘇 Be MaaS' promotes a '乗り放題チケット' (Unlimited Riding Ticket). It features two main options: a 1DAYバス (1-day bus) for 3,000 yen (adult) and 1,500 yen (child), and a 2DAYバス (2-day bus) for 4,000 yen (adult) and 2,000 yen (child). Additional benefits include a 1,000 yen discount for taxi and rental bicycle tickets, and a 500 yen discount for sightseeing and dining. The poster also mentions 'Amazonギフトポイント 1,000円プレゼント' (Amazon Gift Points 1,000 yen present).

〔熊本型観光 MaaS の実証事業〕
(熊本県)

※MaaS (マース：Mobility as a Service) とは、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。

4) 地域公共交通に関する新たなサービスの導入・検討

① 観光施設や宿泊施設と連携した地域公共交通 1～2日フリー乗車券の導入

【事業概要】

本市及び人吉球磨地域の地域公共交通を対象に、定額乗車券（1～2日フリー乗車券）を導入し、地域公共交通利用者の利便性向上を図ります。

また、観光施設や宿泊施設と連携し、観光施設の施設入園料の割引や温泉施設の入浴料割引、商店街や飲食店での特典などについても検討します。併せて、フリー乗車券の販売を施設と連携することで、利用促進を図ります。

【事業主体】

市、球磨地域9町村、地域関係者、交通事業者

【事業箇所】

人吉球磨地域全域

【事業スケジュール】



② コミュニティ交通の料金体系の見直し

【事業概要】

コミュニティ交通を対象に、料金均一化、さらには複数のコミュニティ交通を乗り継いで利用した場合でも追加料金不要と言った定額運賃化など料金体系の見直しを検討し、地域公共交通利用者の利便性向上を図ります。

【事業主体】

市、球磨地域9町村、交通事業者

【事業箇所】

人吉球磨地域全域

【事業スケジュール】



4) 地域公共交通に関する新たなサービスの導入・検討

③交通系 IC カード等の普及・促進

〔事業概要〕

交通系 IC カード（熊本地域振興 IC カード「くまモンの IC カード」や全国相互利用サービス対応の 10 カードなど）等を鉄道及びタクシー事業者等に導入し、地域公共交通利用者の利便性向上を図ります。

さらには、商業施設等と連携した新たな決済方法の導入など、交通系 IC カード等の有効活用を図ります。

※「③MaaS などの新たな技術を活用した地域公共交通利用環境の構築」など、新たな技術の活用（キャッシュレス決済）なども含めて今後適切な方法について検討します。

〔事業主体〕

市、球磨地域 9 町村、地域関係者、交通事業者

〔事業箇所〕

人吉球磨地域全域

〔事業スケジュール〕

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
決済方法の計画		くま川鉄道の全線開通に併せて、運用開催		

（取り組みイメージ）



〔全国相互利用交通系 IC カード〕



電車に乗り込む前に、車体ステッカーをチェック !!



〔熊本市電で実証実験を行っているタッチ決済〕
（熊本市交通局）

5) 地域公共交通に関する多分野との連携

① 保育園・認定こども園・幼稚園・小学校、高齢者を対象とした乗り方教室の実施

【事業概要】

保育園・認定こども園・幼稚園・小学校の園児や児童を対象に、鉄道や路線バス、コミュニティ交通へ触れ合ってもらえる機会を創出することを目的に、乗り方教室を実施します。

さらには、高齢者を対象に、地域公共交通の利用促進を目的に、老人クラブ活動などと連携し、乗り方教室を実施します。

また、乗合タクシー導入地域において、座談会等の実施による意見交換会を行い、利用状況の把握に加え、予約方法などの仕組みや改善点の把握など、地域と連携して地域住民へ丁寧な対話を実施します。

【事業主体】

市、地域住民、地域関係者（教育関係者、高齢者福祉施設関係者など）、交通事業者

【事業箇所】

市全域

- ・小学生は総合的学習の時間の活用（年度末に教育委員会等を通じて学校を募集）
- ・高齢者に関しては老人クラブ活動や町内会（自治会）の集まりの場の活用

【事業スケジュール】

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		適宜実施		

② 多分野での意見交換会

【事業概要】

福祉・教育分野や観光・まちづくり分野、環境分野（ゼロカーボン）との定期的な意見交換等を行い、地域住民の移動等に関する課題や地域公共交通に対するニーズ等を共有します。

また、交通事業者も含めた意見交換会を開催し、地域公共交通の見直し・改善を図ります。

【事業主体】

市、地域関係者（福祉・教育・観光関係者）、交通事業者

※交通関係：復興支援課、教育関係：学校教育課、福祉関係：福祉課・高齢者支援課

その他：商工観光課・都市計画課・地域コミュニティ課、環境課など

【事業箇所】

市全域

【事業スケジュール】

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		適宜実施		

【施策・事業の全体スケジュール】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1)コミュニティ交通の充実					
①地域間幹線系統路線バスの見直しに併せたコミュニティ交通の導入		くま川鉄道の全線開通に併せて、コミュニティ交通の運行準備・運行開始			
②交通空白地への新たなコミュニティ交通の導入	導入検討	実証実験		実証実験結果を踏まえた本格導入	
③既存コミュニティ交通の地域の実情に応じた改善		改善検討		①も踏まえたコミュニティ交通の見直し	
2)新たな地域公共交通の創出					
①市街地エリアにおける新たな移動サービスの導入	導入検討	実証実験		実証実験結果を踏まえた本格導入	
②じゅくりつと号のサービス強化	改善・導入検討			実施	
3)地域公共交通に関する情報提供の充実					
①地域公共交通マップの作成	作成			配布・適宜更新	
②ホームページによる一元的な情報提供の実施及び広報周知	整備			運用開始	
③MaaSなどの新たな技術を活用した地域公共交通利用環境の構築	熊本県の動向などの研究	実施に向けた準備		運用開始	
4)地域公共交通に関する新たなサービスの導入・検討					
①観光施設や宿泊施設と連携した地域公共交通1～2日フリー乗車券の導入	導入検討			運用開始	
②コミュニティ交通の料金体系の見直し	導入検討			運用開始	
③交通系ICカード等の普及・促進	決済方法の計画			くま川鉄道の全線開通に併せて、運用開催	
5)地域公共交通に関する多分野との連携					
①保育園・認定こども園・幼稚園・小学校、高齢者を対象とした乗り方教室の実施				適宜実施	
②多分野での意見交換会				適宜実施	
③地域公共交通に関するイベント開催・地域公共交通と連携した地域でのイベント開催				適宜実施	